

【様式2】令和5年度 羽村市立栄小学校 学校経営計画（学校評価計画表） 学校教育目標 ◎よく考えて学ぶ子 ○明るくじょうぶな子 ○助け合って働く子

教育ビジョン	【目指す学校像】	○子供一人一人がよさを発揮し、未来を切り拓くための力を身に付ける学校 ○保護者・地域の方から信頼される学校 ○「チーム」としての力を活かし、主体的に課題を解決する学校
	【目指す児童像】	○自分たちの学習や生活等をよりよくするよう課題をもち、その課題解決のための方法を自分なりに工夫し、最後まで根気強くやり抜く子供 ○体力向上を目指すとともに、心身ともに健康でたくましく、爽やかな挨拶と元気な返事ができる子供 ○一人一人の意見を尊重し、みんなと協力しながら奉仕する心をもって自らすすんで働く子供
	【目指す教師像】	○挑戦・・・変化を前向きに受け止め、目標に向かって挑戦する教職員 ○信頼・・・相手意識をもって深い信頼関係を築く教職員 ○貢献・・・連携・協働して、チームに貢献する教職員

前年度までの学校経営上の成果と課題 【成果】 ・読書活動の推進 ・自己有用感を高め、思いやりの心を育てる学校づくり ・ICT機器を効果的に活用した授業改善の推進 ・地域英語講師を活用した英語教育の実施 ・地域の教育資源や外部人材等を活用した豊かな体験と学びの機会の設定  
・縦割り班活動「なかよし班活動」の実施  
(箇条書きで簡潔に) 【課題】・言語活動の充実 ・日常的に運動を楽しもうとする児童の育成 ・家庭学習の充実

3つの施策	中期経営目標(施策の内容)	短期経営目標(今年度の取組)	具体的方策	「取組・努力」の評価基準(学校・教職員の姿勢、取組状況)	評定	評価方法	「成果」の評価基準(児童・生徒の変容)	評定	評価方法
小中一貫教育を柱とした特色ある教育の推進	①確かな学力の定着	分かる、楽しい、学びがいのある授業	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 単元を通して、児童の主体的学びの姿・対話的学びの姿・深い学びの姿が見られる学習活動を工夫するとともに、活動する時間を確保する。	「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善ができた」の肯定的な回答が80%以上である。	4	教員アンケート	「授業は、よく分かり、楽しいと思う」の肯定的な回答が80%以上である。	4	児童アンケート
				「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善ができた」の肯定的な回答が70%以上である。	3		「授業は、よく分かり、楽しいと思う」の肯定的な回答が70%以上である。	3	
	「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善ができた」の肯定的な回答が60%以上である。	2	「授業は、よく分かり、楽しいと思う」の肯定的な回答が60%以上である。	2					
	「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善ができた」の肯定的な回答が60%未満である。	1	「授業は、よく分かり、楽しいと思う」の肯定的な回答が60%未満である。	1					
	②特色のある教育の推進	学校生活を楽しく豊かにする異学年交流の充実	縦割り班活動「なかよし班活動」の実施 「なかよし班集会」や「なかよし班花植え(花いっぱい運動)」等の縦割り班活動において、児童に「人に関わりたい」という意欲を持たせ、児童の工夫や努力を認める指導など、児童の自己有用感を高めることに力を入れることを通して、異学年交流の楽しさを味わえるようにする。	「児童の自己有用感を高める指導ができた」の肯定的な回答が80%以上である。	4	教員アンケート	「なかよし班活動は、楽しく積極的に取り組むことができた」の肯定的な回答が80%以上である。	4	児童アンケート
「児童の自己有用感を高める指導ができた」の肯定的な回答が70%以上である。				3	「なかよし班活動は、楽しく積極的に取り組むことができた」の肯定的な回答が70%以上である。		3		
「児童の自己有用感を高める指導ができた」の肯定的な回答が60%以上である。	2	「なかよし班活動は、楽しく積極的に取り組むことができた」の肯定的な回答が60%以上である。	2						
「児童の自己有用感を高める指導ができた」の肯定的な回答が60%未満である。	1	「なかよし班活動は、楽しく積極的に取り組むことができた」の肯定的な回答が60%未満である。	1						
③新しい課題に対応した教育の推進	日常的に運動を楽しもうとする児童の育成	運動の日常化を図る取組の推進 体育の授業を工夫するとともに、運動会、持久走週間、縄跳び週間・大会、「遊ぼうデー」、休み時間等の外遊びの奨励を実施することを通して、日常的に運動を楽しもうとする児童を育成する。	児童が運動を楽しむために、体育の授業、体育的行事、休み時間等の外遊びの奨励を実施できた」の肯定的な回答が90%以上である。	4	教員アンケート	「体育の授業、体育的行事、休み時間等の外遊びなどにおいて、運動を楽しむことができた」の回答が80%以上である。	4	児童アンケート	
			児童が運動を楽しむために、体育の授業、体育的行事、休み時間等の外遊びの奨励を実施できた」の肯定的な回答が70%以上である。	3		「体育の授業、体育的行事、休み時間等の外遊びなどにおいて、運動を楽しむことができた」の回答が70%以上である。	3		
児童が運動を楽しむために、体育の授業、体育的行事、休み時間等の外遊びの奨励を実施できた」の肯定的な回答が60%以上である。	2	「体育の授業、体育的行事、休み時間等の外遊びなどにおいて、運動を楽しむことができた」の回答が60%以上である。	2						
児童が運動を楽しむために、体育の授業、体育的行事、休み時間等の外遊びの奨励を実施できた」の肯定的な回答が60%未満である。	1	「体育の授業、体育的行事、休み時間等の外遊びなどにおいて、運動を楽しむことができた」の回答が60%未満である。	1						
④人権教育の推進と道徳教育の充実	親切・思いやりの心の育成	親切な行為や思いやりの大切さを考える指導 「はむらの道徳科授業指針」に基づく授業づくりを行うとともに、相手の立場を考えたり、相手の気持ちを思いやったりする機会をつくることを通して、親切な行為や思いやりの大切さを考える指導を行う。	「親切な行為や思いやりの大切さを考える指導ができた」の肯定的な回答が80%以上である。	4	教員アンケート	「人に温かい心でかわわり、親切にすることができた」の肯定的な回答が80%以上である。	4	児童アンケート	
			「親切な行為や思いやりの大切さを考える指導ができた」の肯定的な回答が70%以上である。	3		「人に温かい心でかわわり、親切にすることができた」の肯定的な回答が70%以上である。	3		
「親切な行為や思いやりの大切さを考える指導ができた」の肯定的な回答が60%以上である。	2	「人に温かい心でかわわり、親切にすることができた」の肯定的な回答が60%以上である。	2						
「親切な行為や思いやりの大切さを考える指導ができた」の肯定的な回答が60%未満である。	1	「人に温かい心でかわわり、親切にすることができた」の肯定的な回答が60%未満である。	1						
⑤小中一貫教育の推進	家庭学習の充実	家庭学習週間等の実施 授業と家庭学習を連携させていくとともに、家庭学習ノートや家庭学習記録表を活用した家庭学習週間を年2回実施し、家庭と連携することを通して、児童の学習習慣を身に付ける。	「家庭学習の充実に向けた取組ができた」の肯定的な回答が80%以上である。	4	教員アンケート	「家庭学習がだんだんと取り組めるようになっている」の肯定的な回答が80%以上である。	4	児童アンケート	
			「家庭学習の充実に向けて取り組むことができた」の肯定的な回答が70%以上である。	3		「家庭学習がだんだんと取り組めるようになっている」の肯定的な回答が70%以上である。	3		
「家庭学習の充実に向けて取り組むことができた」の肯定的な回答が60%以上である。	2	「家庭学習がだんだんと取り組めるようになっている」の肯定的な回答が60%以上である。	2						
「家庭学習の充実に向けて取り組むことができた」の肯定的な回答が60%未満である。	1	「家庭学習がだんだんと取り組めるようになっている」の肯定的な回答が60%未満である。	1						
多様なニーズに応じた教育の推進	⑥特別支援教育の推進	多様なニーズに応じた教育の推進	チーム学校による個に応じた支援 個に応じた支援ができるように、特別支援教育支援員、特別支援教育介助員、スクールカウンセラー、教育相談員、スクールソーシャルワーカー等と連携し、チーム学校として対応する。	「チーム学校で連携して個に応じた支援ができた」の肯定的な回答が80%以上である。	4	教員アンケート	「困りごとや心配なことがある時に、先生や身近な大人に相談できると思いますが」の肯定的な回答が80%以上である。	4	児童アンケート
				「チーム学校で連携して個に応じた支援ができた」の肯定的な回答が70%以上である。	3		「困りごとや心配なことがある時に、先生や身近な大人に相談できると思いますが」の肯定的な回答が70%以上である。	3	
「チーム学校で連携して個に応じた支援ができた」の肯定的な回答が60%以上である。	2	「困りごとや心配なことがある時に、先生や身近な大人に相談できると思いますが」の肯定的な回答が60%以上である。	2						
「チーム学校で連携して個に応じた支援ができた」の肯定的な回答が60%未満である。	1	「困りごとや心配なことがある時に、先生や身近な大人に相談できると思いますが」の肯定的な回答が60%未満である。	1						
⑦子供たちが楽しく通える学校の実現	いじめ防止対策の推進	いじめ防止基本計画に基づいた取組の徹底 「いじめ、いじわる、いやがらせ」を許さない学校づくりのために、アンケート調査を月1回実施し、積極的にいじめを認知して、学校全体で組織的に対応する。	「ささいな兆候であっても、積極的にいじめを認知し、学校全体で組織的に解決できた」の肯定的な回答が80%以上である。	4	教員アンケート	「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」の肯定的な回答が100%である。	4	児童アンケート	
			「ささいな兆候であっても、積極的にいじめを認知し、学校全体で組織的に解決できた」の肯定的な回答が70%以上である。	3		「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」の肯定的な回答が90%以上である。	3		
「ささいな兆候であっても、積極的にいじめを認知し、学校全体で組織的に解決できた」の肯定的な回答が60%以上である。	2	「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」の肯定的な回答が80%以上である。	2						
「ささいな兆候であっても、積極的にいじめを認知し、学校全体で組織的に解決できた」の肯定的な回答が60%未満である。	1	「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」の肯定的な回答が80%未満である。	1						
健やかな成長を支える教育環境の整備	⑧児童・生徒理解に基づく指導体制の構築	児童理解の徹底	児童理解に基づく指導体制 特別支援教育協議会(年2回)、生活指導終礼(週1回)、学年会、校内委員会(月3回)等を活用して、児童理解を徹底する。	「校内で情報共有を図り、児童理解に基づく指導ができた」の肯定的な回答が80%以上である。	4	教員アンケート	「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思えますか」の肯定的な回答が80%以上である。	4	児童アンケート
				「校内で情報共有を図り、児童理解に基づく指導ができた」の肯定的な回答が70%以上である。	3		「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思えますか」の肯定的な回答が70%以上である。	3	
「校内で情報共有を図り、児童理解に基づく指導ができた」の肯定的な回答が60%以上である。	2	「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思えますか」の肯定的な回答が60%以上である。	2						
「校内で情報共有を図り、児童理解に基づく指導ができた」の肯定的な回答が60%未満である。	1	「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思えますか」の肯定的な回答が60%未満である。	1						
⑨OJTを中心とした校内研修体制の確立	はむらの学校教育に基づく「言葉の力」を中核とした学校づくりの実現	言語能力の向上 令和5年羽村市教育課題研究校として、児童が「考える力」「感じる力」「想像する力」「表す力」を発揮する言語活動を取り入れた授業づくりを行い、言葉の力を着実に育てる。	児童が「考える力」「感じる力」「想像する力」「表す力」を発揮する言語活動を取り入れた授業づくりができた」の肯定的な回答が80%以上である。	4	教員アンケート	「授業では、自分の考えや感想をもつことができた」の肯定的な回答が80%以上である。	4	児童アンケート	
			児童が「考える力」「感じる力」「想像する力」「表す力」を発揮する言語活動を取り入れた授業づくりができた」の肯定的な回答が70%以上である。	3		「授業では、自分の考えや感想をもつことができた」の肯定的な回答が70%以上である。	3		
児童が「考える力」「感じる力」「想像する力」「表す力」を発揮する言語活動を取り入れた授業づくりができた」の肯定的な回答が60%以上である。	2	「授業では、自分の考えや感想をもつことができた」の肯定的な回答が60%以上である。	2						
児童が「考える力」「感じる力」「想像する力」「表す力」を発揮する言語活動を取り入れた授業づくりができた」の肯定的な回答が60%未満である。	1	「授業では、自分の考えや感想をもつことができた」の肯定的な回答が60%未満である。	1						
⑩保護者や地域住民の協力・参画	豊かな体験と学びの機会の設定	地域の教育資源や外部人材等を活用 英語、羽村学(郷土学習)、人間学(キャリア教育)をはじめ、各教科等の内容において地域の教育資源や外部人材等を活用することを通して、豊かな体験と学びの機会を設定する。	地域の教育資源や外部人材等を活用した豊かな体験と学びの機会を設定することができた」の肯定的な回答が80%以上である。	4	教員アンケート	「地域に愛着をもっている」の肯定的な回答が80%以上である。	4	児童アンケート (3年以上)	
			地域の教育資源や外部人材等を活用した豊かな体験と学びの機会を設定することができた」の肯定的な回答が70%以上である。	3		「地域に愛着をもっている」の肯定的な回答が70%以上である。	3		
地域の教育資源や外部人材等を活用した豊かな体験と学びの機会を設定することができた」の肯定的な回答が60%以上である。	2	「地域に愛着をもっている」の肯定的な回答が60%以上である。	2						
地域の教育資源や外部人材等を活用した豊かな体験と学びの機会を設定することができた」の肯定的な回答が60%未満である。	1	「地域に愛着をもっている」の肯定的な回答が60%未満である。	1						
学校の特色	学校の特色や独自性のある取組	基礎学力の定着	「計算タイム」及び「英語モジュール」の実施 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るため、「計算タイム」を実施する(昼休み終了後の15分間、1～4年生は月・木・金の週3回実施、5・6年生は月・木の週2回実施)。また、5・6年生は、「英語モジュール」を実施する(金の週1回)。	「基礎的・基本的な知識・技能の定着に向けて効果的に『計算タイム』ができた」の肯定的な回答が80%以上である。	4	教員アンケート ※5・6年担任のみ「英語モジュール」も回答	「『計算タイム』に取り組んで、計算の力が高まった」の肯定的な回答が80%以上である。	4	児童アンケート ※5・6年児童のみ「英語モジュール」も回答
				「基礎的・基本的な知識・技能の定着に向けて効果的に『計算タイム』ができた」の肯定的な回答が70%以上である。	3		「『計算タイム』に取り組んで、計算の力が高まった」の肯定的な回答が70%以上である。	3	
				「基礎的・基本的な知識・技能の定着に向けて効果的に『計算タイム』ができた」の肯定的な回答が60%以上である。	2		「『計算タイム』に取り組んで、計算の力が高まった」の肯定的な回答が60%以上である。	2	
				「基礎的・基本的な知識・技能の定着に向けて効果的に『計算タイム』ができた」の肯定的な回答が60%未満である。	1		「『計算タイム』に取り組んで、計算の力が高まった」の肯定的な回答が60%未満である。	1	